

重度心身障害者への医療費負担増について質問する参加者＝18日、札幌市



札幌市の見直しは、道の医療費助成制度の改悪に伴うもので今年十月から実施の予定。この日の

“負担高くて暮らせない” 札幌市の医療費見直し案

障害者ら説明に怒り

重度心身障害者や乳幼児、母子家庭、老人への医療費助成制度の「見直し案」を六月議会に提出する予定の札幌市は十八日、百五十以上の障害者団体が結集する「北海道の医療費助成を考える連絡会」に対し「見直し案」の内容を明らかにしました。出席者からは、あまりにひどい内容に反対の声が出されました。

同連絡会の会議で市の山田喜代志保険医療担当部長が説明しました。それによると、現行制度では通院・入院とも負担は初診時の五百八十円（歯科は五百十円）のみだったが、「見直し案」では住民税課税世帯の四歳以上は一割負担となり

ます。そして、通院の場合、月額上限として「医療機関（薬局も同様）ごと、総合病院では「医療料ごとに三千円を設定。複数回の医療機関、医療料を受診した場合の一月月の通院上限額は道と同じ二万二千元とし、それを超え

た場合は、窓口でいったん全額払い、後で払い戻しを受ける償還払いとなります。入院の月額上限は四万二千元となります。説明を受けた障害者からは「何カ所も病院に通院している。負担が高すぎて暮らしていけない」「償還制度だと視覚障害の人は手続きができない。違う方法を考えるべきじゃないか」などの質問や怒りの声が相次ぎました。

同連絡会は、「見直し案」の撤回を求めて賛同団体拡大や署名活動に取り組み予定です。

札幌市全区で 国保証取り上げ減った

「110番連絡会」などの運動反映

「市民の命、健康を守るためさらに」

札幌市の資格証明書、短期保険証の発行状況

(5月1日現在)

| | 資格証明書 (03年12月1日比) | 短期保険証 (03年12月1日比) |
|-----|-------------------|-------------------|
| 中央区 | 2,288 (-120) | 3,327 (-737) |
| 北区 | 1,452 (-257) | 6,594 (-998) |
| 東区 | 2,083 (-222) | 5,736 (-747) |
| 白石区 | 2,363 (-119) | 4,141 (-1985) |
| 厚別区 | 250 (-73) | 1,836 (-252) |
| 豊平区 | 1,594 (-455) | 5,013 (-724) |
| 清田区 | 362 (-26) | 1,166 (-193) |
| 南区 | 585 (-106) | 2,443 (-555) |
| 西区 | 1,407 (-92) | 3,018 (-732) |
| 手稲区 | 592 (-215) | 2,029 (-281) |
| 全市計 | 13,027 (-1,885) | 35,303 (-7,184) |

五月一日現在の札幌市の資格証明書と短期保険証の国民健康保険(国保)に減

つていることが同市のます。とめでわかりました。国保・介護二〇番連絡会



国保・介護110番関係団体連絡会が毎月実施している「相談会」＝札幌市厚別区役所

点の資格書発行は一万三千二十七世帯で、毎年の運動が生きたもので年十二月一日より千六百

まよめによると、同時

事情確認する市の訪問が大事
佐藤宏和・道生連事務局長の話 昨年十二月からの要綱改定以来、市が事情を確認する訪問に力を入れており、その効果はあらわれているのではないかと、区によって減り方にバラつきはあるが、全区で減少しているのは非常に大事なことだ。市民の健康と医療を守るため、新しい要綱の内容を

八十五世帯(11・5%)減、四月一日比でも三百五十八世帯減少した。短期証は三万五千三百三十三世帯で、昨年十二月より七千八百八十四世帯(16・9%)と大幅に減少、四月一日比でも九百二十六世帯減りました。全市で資格書、短期証とも減少しているのが特徴。資格書では豊平区が四百五十五世帯、北区が二百五十七世帯、東区が二百二十二世帯減少。

短期証は白石区千九百八十五世帯、北区が九百九十八世帯減少しました。同資格書は、正規の保険証の発行が停止され、窓口でいったん医療費の全額(十割)を支払わなければならなくなるもの。支払い困難から患者や病院にかかれず、患者が重症化したり、手遅れ死が起るなど、深刻な事態を招いています。資格書大量発行が問題になっている札幌市で、いっそう徹底するよう運動を強めたい。

「特別の事情」があるかどうかを重点的に確認する、まじめに対応している人は未病が一年を過ぎた場合でも資格書発行しない、などです。

医療費助成制度の存続せひ



市（左）に申し入れる札幌社保協、新婦人の代表
＝24日、札幌市

札幌市長に申入れ

札幌社保協と新婦人

道の乳幼児、母子家庭、重度心身障害者、老人の医療費助成制度改悪に伴い札幌市が医療費助成事業の「見直し」を検討している問題で、札幌社保協推進協議会（代表委員・佐藤宏和氏）、新日本婦人の会札幌協議会（代表・渡辺富子氏）は二十四日、市の医療費助成制度を維持、存続させるよう上田文雄市長に申し入れました。

市長への申し入れで札幌社保協の佐藤代表委員は「市長として、道の医療費助成制度の一割負担導入を実施しないように、道に働きかけを」と要望しました。
新婦人札幌協議会の渡辺代表は「乳幼児医療費の助成は、所得制限を廃止し、安心してかかれ「制度に」と訴えまはた。
応じた保健福祉局長は「趣旨は理解している。受益者負担はどうかあるべきか議論が必要。議会、内部で検討していく」と答えました。

札幌市長が共産党に表明

当初予定の10月から来年4月に 敬老パス改悪を延期

七十歳以上の札幌市民が市営交通機関などを無料で利用できる敬老パス（敬老優待乗車証）の改悪について、上田文雄札幌市長は二十五日、定例会議を前にした日本共産党市議員団との懇談の中で、実施時期を当初予定の十月から来年四月に延期することを表明しました。

市の改悪案は、敬老パス一人あたり平均三千円の負担を減らすため、二万円負担で支給する方法に変更のプリペイドカード二枚 えようというもので、十（利用額二万三千元）を、月から実施する予定でした。



上田文雄札幌市長（右）と懇談する日本共産党市議員団の各日、札幌市

党議員団 現行制度堅持を要望

た。半年とほいえ実施時期を延期させたことは、「札幌敬老パスを守る連絡会」をはじめとする市民の運動と日本共産党市議員団の議会で波及の大きな成果です。

上田市長は、共産党市議員団の質問に答えて、敬老パスは来年三月三十一日までは従来通りとし、「みなさんと議論をして制度をつくっていきたい」と話しました。

今回の先送りの理由について、上田市長は「市民の要望とバス会社の両方を考慮した」と述べました。

共産党市議員団は、実施時期の延期にとどまらず現行制度を堅持するよう強く要望しました。

懇談ではまた、党市議員団が、道の医療費助成制度の改悪に伴う市の医療費助成制度の「見直し」に対して「撤回してほしい」と要求しました。

上田市長は「市の予算も厳しい。道の運営無用の改定に多くの市長から強い意見が上がっています。全道市長会としても意見を上げたい」と述べました。

医療費助成改定 十分な協議を 全道市長会が知事に要請

道が障害者などへの医療費助成制度を十月から改定（原則一割負担導入など）しようとしている問題で、全道市長会は二日、高橋はるみ知事に対して、市町村と十分な協議を要請しました。

道が障害者などへの医療費助成制度を十月から改定（原則一割負担導入など）しようとしている問題で、全道市長会は二日、高橋はるみ知事に対して、市町村と十分な協議を要請しました。

申請すれば、会長の上野晃・登別市長、副会長として渡邊健和札幌市長が口頭で行いました。内容は三月末に決める十月実施というのでは、市町村は準備期間が取れ

もある。この事業は道と市町村の共同事業であり、改定にあたっては十分に協議した上で進めてほしいというも。道設議では、三月議決で医療費助成予算の十

申請すれば、会長の上野晃・登別市長、副会長として渡邊健和札幌市長が口頭で行いました。内容は三月末に決める十月実施というのでは、市町村は準備期間が取れ

もある。この事業は道と市町村の共同事業であり、改定にあたっては十分に協議した上で進めてほしいというも。道設議では、三月議決で医療費助成予算の十



陳情書の趣旨説明をする（前列右から）小谷さん、山崎さん、（2列目）清水さん＝7日、札幌市

札幌市議会 委 医療費助成制度存続求める 陳情は継続審議に

札幌市議会厚生委員会 巨額削減をしました。小谷さんは「道が出した医療費一割負担は障害者にとって大きな負担。医療費助成制度の存続、拡充を求める陳情」や乳幼児医療助成制度などを審議しました。道医療費助成を考える会と札幌社会保険推進協議会が提出した「医療費助成制度の存続、拡充を求める陳情」や乳幼児医療助成制度などを審議しました。道医療費助成を考える会と札幌社会保険推進協議会が提出した「医療費助成制度の存続、拡充を求める陳情」や乳幼児医療助成制度などを審議しました。

市議が賛同に立ち、そのなかで、政令都市で現在、乳幼児医療と一割負担を行っているのは神戸市だけ、重度障害者の一割負担を行っている市は一つもないことが明らかになりました。また、道が難病の医療費助成を見直す方針を固めたことについて、「患者団体や共同事業の担い手の市町村などの協議を十分に行うよう道に申し入れを」と、小川市議が求めたのに対し、市側は「道に申し入れをした」とのべまし